



院長コラム

聖書の一節から

From the Bible

+

*Very truly, I tell you,
unless a grain of wheat falls
into the earth and dies,
it remains just a single grain; but if it dies,
it bears much fruit.*

はっきり言っておく。
一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、
一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。

(ヨハネによる福音書12章24節 新共同訳)



西南学院 院長
いまい なおき
今井 尚生

イエスが語ったとされるこの言葉は、十字架の意味を暗示しています。避けることのできない死、それ自体は何の意味があるのか、死によって全ては無意味になってしまうのではないか、との問いは人の心に暗い影を落とします。しかし、イエス・キリストが歩もうとされる十字架の道は、決して無意味に終わることはない、豊、豊かな実を結ぶ新しい時の始まりなのだ、と聖書は語ります。2019年12月4日、敬愛する

中村哲先生が凶弾に倒れたという報に接し、学院関係者のみならず、先生を知る人は大きな衝撃を受けました。私自身もまた、卑劣な犯行に対する憤りと、人のまごころの通じないことへの深い悲しみに襲われました。しかしやがて、中村先生はまさにイエスが歩まれた道を歩んだのだ、と思うようになりました。中村先生の人生は、まさに「西南よ、キリストに忠実なれ」という建学の精神を生きた人生でした。

School Organization Chart

1万人を超える学生、生徒、児童、園児が通う西南学院。

西南学院は、保育所・幼稚園から大学・大学院までを擁する全国でも数少ない総合学園です。
保育所から大学院まで一貫した理念に基づいて、保育、教育を実施しています。 ※データは2023年2月現在



西南学院大学

学生数:約8,200人

1949年開設。人文・社会系総合大学です。開学当時からキリスト教に基づく人格教育を実践してきました。また、1971年に他大学に先駆けて国際交流制度を導入し、外国語教育をはじめとする国際教育の充実・向上を図っています。長年にわたって培われてきた伝統は、社会的に高く評価されており、同窓生たちは、九州の経済界をはじめ、教育、マスコミ、法曹、福祉など多方面で活躍しています。



西南学院小学校

児童数:約420人

2010年に開校した、西南学院の中で最も新しい学校です。心身ともに成長著しい小学校の課程において、キリスト教の精神に基づいた教育理念のもとに「隣人愛を育む」「知恵を育む」ことを目標として、平和な未来を創る子どもたちの育成に努めています。環境に配慮して設計された校舎内は最新の教育機器を備えており、教育的向上が図られています。



西南学院中学校・高等学校

【高等学校】生徒数:約1,300人

全学年、毎日1限目から7限目まで7時間の授業が行われています(月曜のみ8時間)。多様化する大学入試にも対応できるように、習熟度や進度の違いに配慮して授業を実施しています。知識の習得はもちろん、物事の善し悪しを判断する知恵と「自分にしてほしいことを他人に行う」という積極的な生き方を身に付け、それをいかに社会で生かしていくかを学びます。

【中学校】生徒数:約650人

一人ひとりが授かった能力や個性を最大限に伸ばすことができる教育を目指し、中高一貫教育を実施しています。6年間にわたるゆとりあるカリキュラムと恵まれた環境の中で、生徒たちが自ら考え、自発的に学ぶ姿勢を身に付けると同時に、聖書の学びやクラブ活動、国際交流、ボランティア活動等を通して、豊かな人格形成ができるように配慮した教育を実施しています。



西南学院舞鶴幼稚園

園児数:約170人

福岡市内で最も歴史のあるキリスト教主義の幼稚園です。「心ゆたかでたくましいひかりのこ」を目指して、太陽と土と水と緑に触れながら感性豊かに育ち合う子どもたちを育成しています。一人ひとりの子どもの気持ちをくみ取ることができるよう、各クラスを複数担任で受け持っています。思いやりの心を培いながら、個性豊かにのびのびと生きていく力を育む保育を実践しています。



西南学院早緑子供の園(保育所)

園児数:約100人

0歳から5歳児までの園児が長時間生活する場として、家庭的な雰囲気ときめ細かな育児を心がけています。「神様に愛され守られて成長していく一人ひとりの子どもを大切に」というキリスト教を礎とした保育理念を柱に、子どもたちが神様の深い愛に包まれている安心感を持ちながら、生きる力の基礎となる土台を育んでほしいと願い、保育を進めています。

Vol. 12

March 24, 2023

西南学院広報誌

あか れん が

赤煉瓦通信

～ 一粒の麦から ～

2023年3月24日発行(年2回発行)
学校法人西南学院 総合企画部 広報・校友課
〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92
TEL.092-823-3248
koho@seinan-gu.ac.jp

【“一粒の麦”について】

「一粒の麦」は、イエス・キリストが言われた「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒の麦のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ」を語源としたものです。広い世界の中で、西南学院は「一粒の麦」であり、西南学院で学ぶ一人ひとりもまた「一粒の麦」と言えます。「一粒の麦」が持つ可能性を信じ、社会のために尽くしていくこそが創立者の思いであり、今もなお大切に受け継がれています。

西南学院

<https://www.seinan-gakuin.jp>

西南学院大学・大学院
西南学院中学校・高等学校
西南学院小学校
西南学院舞鶴幼稚園
西南学院早緑子供の園(保育所)

西南学院広報誌

あか れん が

赤煉瓦通信 Vol. 12

March 24, 2023

～ 一粒の麦から ～

特集

西南学院と西新・百道



西南学院



特集

西南学院と 西新・百道

西南学院のホームタウンともいえる西新・百道。昔ながらの風景や街並みを振り返りながら、西南学院と縁の深いおなじみの場所を巡ってみました。



人情味にあふれた温かい街に育てられた学生は、数知れず

私は鹿児島県の出身で、西南学院大学入学を機に1971年に福岡にやってきました。どこに行くにも今ほどアクセスは良くありませんでしたし、インターネットもない時代です。当時は街中に路面電車が通っていて、博多から西新・百道までは片道1時間ほどかかったように記憶しています。百道浜は埋め立てられる前だったので、今、西南学院小学校や中学校・高等学校がある場所は海だったんです。確か、相模部屋の宿舎もあったのではないのでしょうか。現在の景色からは想像もできないでしょう。商店街も昔は街並みが全く違って、銭湯や

飲食店がたくさん軒を連ねていました。海風が冷える冬の寒い夜は、銭湯で体を温め、風呂上がり一杯飲んで家までの道のりを何とか乗り切っていたものです。私と同じように県外から入学してきた友人も近くに住んでいたんで、陸上部の練習で大濠公園などに行く以外は西新・百道の中でよく遊び、遊んでいましたね。学生街ということもあってか、街ぐるみで人を温かく見守り育てていくようなムードがあってとても居心地が良かったんです。そんな人情味にあふれた街でキリスト教の教えに触れ、人として大きく成長することができた大学時代でした。



今は当時に比べると洗練された店が増えたように感じます。また、オンライン授業の浸透など、学ぶ環境の選択肢が増え、非常に便利な時代になりました。それでも人の温もりやつながりの大切さは今も変わりません。西南学院に学ぶ皆さんは、進化した技術の恩恵をありがたく受けつつ、西新・百道、そして西南学院を長年見守ってくれている方々からの眼差しに包まれて、今のこの街でしか見ることができない景色を楽しみながら伸び伸び育ってほしいと思います。



西南学院大学
商学部商学科
教授
ふくauraいくみ
福浦幾巳



ストロベリーフィールズ 西新店

「ストフィー」の愛称でおなじみ！
愛され続けて40余年のスイーツ専門店

1980年のオープン以来、時代に合わせて進化を続け、定番メニューから季節ものまで豊富なスイーツがそろったカフェ。西南学院の名物菓子「セナフィー」のコラボ店でもあります。

■住所：福岡市早良区西新5-4-19 ■電話：092-822-0400
■時間：11:30～22:00(LOはメニューによって異なる)、テイクアウトは10:00～
■休み：なし、年末年始



▲「ガトーフレーズ(460円)」はオープン当初からの定番人気

西南学院大生の第二の我が家!?
1977年創業の中国料理店

名物はカリッと焼いた麺に野菜たっぷりの餡がかかった「福寿皿うどん」。帰省のたびに訪れる卒業生もいます。実は、永遠の看板娘の美恵さんも西南学院大学の卒業生で、歴代のアルバイトも西南大生が多いのだとか！

■住所：福岡市早良区高取1-17-18 ■電話：092-407-9191
■時間：11:30～14:45(LO14:15)、16:45～21:30(LO20:45)
■休み：月曜(祝日の場合は翌日) ※不定休もあり



華風 福寿飯店



▲「福寿皿うどん(平日昼990円、通常1,200円)」は創業以来の看板メニュー

今はなきメモリアルプレイス



写真提供：早良区役所「早良区お宝写真今昔物語い〜ね!!」

ピオネ荘

百道海岸にあった海の家「ピオネ荘」。海水浴場が閉鎖した後も、相撲部屋の宿舎として利用され、また、大学の部活動の合宿所やコンパ会場にもなったりと西南学院と身近な存在。2003年にその幕を閉じるまで、ここで青春を謳歌した学生たちもたくさんいたことでしょう。



珈琲伊藤

憩いの場として
たくさんの出会いをつなぐ老舗喫茶店

1977年創業。こだわりのオリジナルブレンドコーヒーとホットサンドが名物の喫茶店です。緑が深まる場でもあり、ここで就職先が決まった人も多いたか。店主の伊藤さんに仲人を務めてもらった卒業生もいるそうです。

■住所：福岡市早良区西新5-1-35 アリクープ西新1F ■電話：092-823-0325
■時間：8:00～21:00(LO20:30)
■休み：木曜、年末31日



▲「プレスサンド(700円)」の中でもミートローフがダントツ人気

西南学院生を見守り続ける
西新・百道の名物交差点

地下鉄西新駅から上って百道浜方面に少し歩いていくと見えてくるのが臨山口交差点。そして、「サザエさん通り」の看板です。一見すると何の変哲もないこの交差点ですが、これまで何万人もの西南学院生が通学路として慣れ親しんできた場所です。現役生にとってはおなじみの、卒業生にとっては懐かしい景色のはず。建ち並ぶ店などは少し変わっているかもしれませんが、ここを歩くだけでたくさんの思い出がよみがえるという人も多いのでは？

臨山口交差点



学生が集う定食屋さん。太っ腹な学割に感謝！

黄色い看板が目印。1976年創業時から今も変わらず、学生・生徒たちの胃袋を満たしてくれる定食屋さんです。約35種あるメニューの中でも「チキン南蛮定食」は西南学院生のリクエストも多く、期間限定から定番になった人気の一品。ランチタイムは学割50円引きといううれしいサービスも！

■住所：福岡市早良区西新6-8-20 メゾンラフィネ西新1F ■電話：092-851-6571
■時間：11:30～14:30、17:00～21:30(LO各30分前) ■休み：日祝日、年末年始



▲人気の「チキン南蛮定食(750円)」は味もボリュームも満点

ふじや食堂



▲店内はテーブル席と畳の座敷席があり、壁には西南学院生との思い出の写真がいっぱい

西南学院大学博物館



▲1970年代、かつては中学校・高等学校のチャペル(講堂)として利用されていました

キリスト教文化に焦点を当てた
特色ある博物館

1921年に西南学院の本館としてウィリアム・メレル・ヴォーリズが設計した赤レンガの建物は、歴史の重みと荘厳さから学院のシンボルとして位置付けられています。キリスト教文化をはじめ、学院創立者のC.K.ドージャーにまつわる品々も展示され、2006年の開館以来、西南学院生だけでなく、社会に向けても発信する知の拠点になっています。

建物は「福岡県指定有形文化財(建造物)」に指定されています。

■住所：福岡市早良区西新3-13-1 ■電話：092-823-4785 ■時間：10:00～18:00(入館は17:30まで)
■休み：日曜、夏季休暇(8/10～8/16)、キリスト降誕祭(12/25)、年末年始(12/28～1/5)
■入館料：無料

今も大人気！懐かしのおやつ



不動の人気No.1は「ハムエッグ(220円)」▶

むっちゃん万十 西新店

ムツゴロウの形が特徴のお惣菜・スイーツ系おやつ。帰り道、小腹を満たすために立ち寄っていた人も多いのでは？

■住所：福岡市早良区西新4-9-3 トリスビル1F
■電話：092-845-6986
■時間：11:00～19:00前後(売り切れ次第終了)
■休み：月曜、年始



生地に蜂蜜を使用。黒餡も白餡も1個110円▶

蜂楽饅頭 西新店

西南学院生に長年親しまれる饅頭は、手間暇かけ炊き上げた自家製の餡がたっぷり。親子三代で通う人もいます。

■住所：福岡市早良区西新4-9-18 1F
■電話：092-822-5599
■時間：10:00～18:00(売り切れ次第終了)
■休み：火曜、年末年始

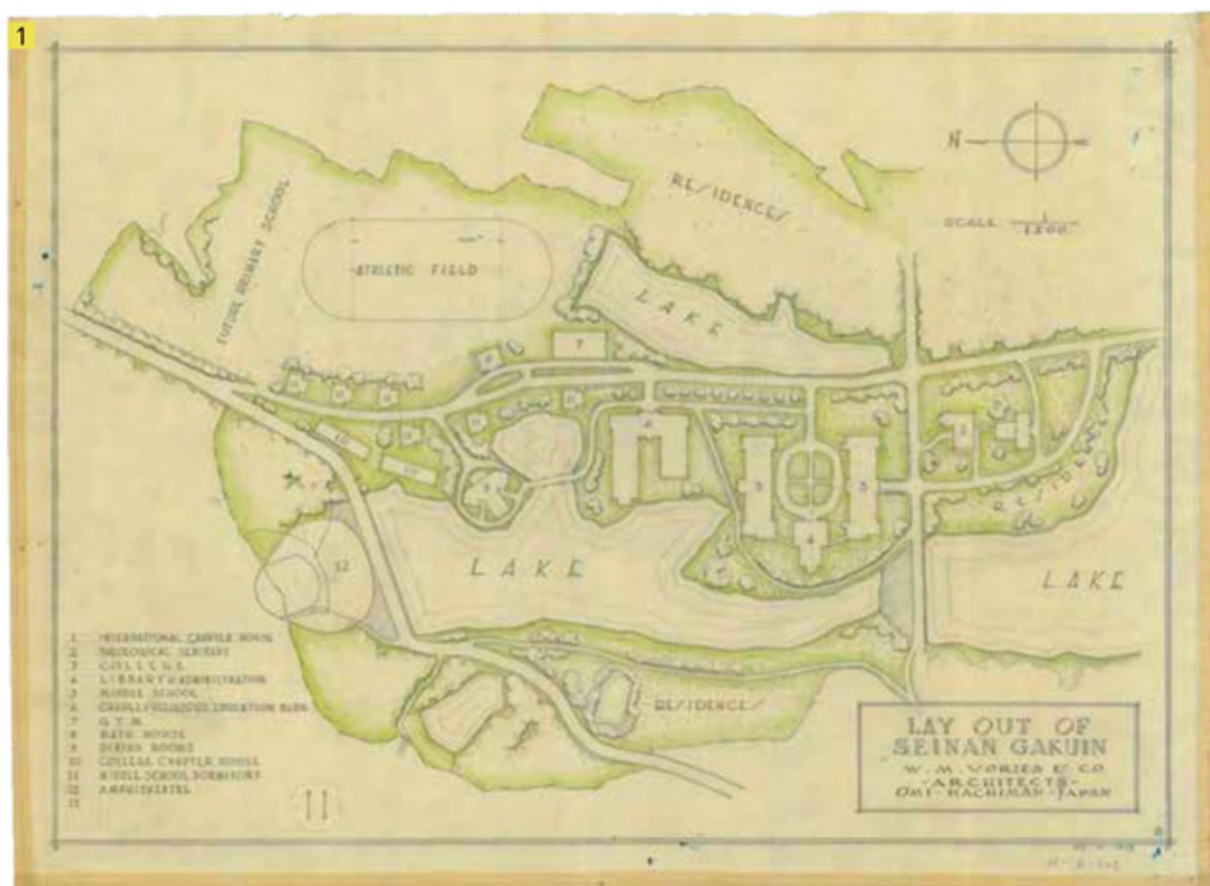


西南学院History

【第6回／干隈キャンパス】

100年以上の歴史を誇る西南学院には、後世に伝えるべき歴史やストーリーがたくさんあります。このコーナーでは西南学院にまつわる歴史を紹介していきます。

西南学院の憩いの場 干隈の思い出



西南学院バプテスト大学配置図(1937年)株式会社一粒社ヴォーリス建築事務所 所蔵

西南学院バプテスト大学構想

1937年、中学部、高等学部へ続き、干隈地区に大学を建てる計画が持ち上がりました。学院はこの地に大学を設立する計画を立て、ヴォーリス建築事務所に依頼し、「西南学院バプテスト大学(SEINAN GAKUIN BAPTIST UNIVERSITY)」の構想を明らかにしました(写真1)。そこには大学の校舎の他、学生寮、体育館、そして池を望む食堂など学生生活を支えるさまざまな施設があり、魅力的なキャンパス計画が描かれています。また、構想図には将来の小学校の建設予定地も記されています。しかし、戦争の影響で国際関係が悪化したことにより、敷地の取得にとどまり、この構想は実現には至りませんでした。

干隈キャンパスの発展

戦後、干隈校地には大学神学部の校舎や学生寮が建築されました。1951年10月に完成した神学生の寄宿舍「神学寮」は、本学では戦前、戦後を通して、最初の鉄筋コンクリート造りの建造物でした。また、1955年7月には神学部校舎(神学館)が完成しました(写真2)。1955年に神学部が西新校地から干隈校地に移転し、2001年に再び西新校地に移転するまでの約45年間、この地で多くの学生が学びました。また、学院は西新の街中にあり、宗教行事や精神修養のためには適当ではない面もあるため、干隈に修養会館を建設することになりました。改築のために解体された西新校地の高等学校西校舎の古材を使用し、米国南部バプテスト連盟からの寄付によって建てられ、1952年に第1期工事が、1955年に第2期工事が、それぞれ完成しました(写真3)。部屋の中には暖炉があり、そこには西南学院の建学の精神である「西南よ、基督に忠実なれ」という創立者C. K. ドージャーの遺訓が掲げられていました(写真4)。修養会館では大学のサークルやゼミナールのイベント、新入生歓迎会などが行われ、「山の家」と呼ばれて親しまれました。

さらに干隈には大学のグラウンド(運動場)が整備され

ました。周囲を住宅と小学校・高等学校に囲まれている西新校地に総合運動場の用地を確保することは困難であったため、学院は干隈校地の隣接地を買収し、運動場を建設する計画を立てました。既存の校地に、新たに買収した土地約2万2,000㎡を加えた約4万1,800㎡のグラウンドは、1960年11月に完成し、野球・ラグビー・バレーボール・テニス等のコートが設けられました(写真5)。干隈グラウンドでは学生や教職員の親睦を深める体育祭(写真6)も行われ、学院の憩いの場として長く愛されました。

1999年に干隈校地は福岡市に譲渡売却されました。その跡地は「西南杜の湖畔公園」として新たに市民の憩いの場となっています。

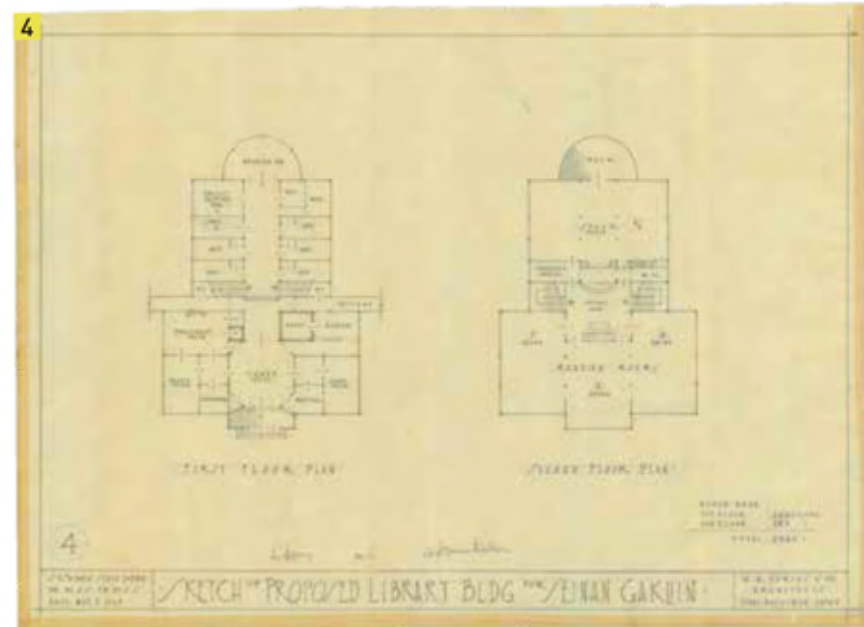
ここで紹介した西南学院と干隈キャンパスの思い出を伝える資料を百年館西南学院史資料センター企画展示室で展示します。ぜひご来場ください(2023年3月1日～12月19日)。



「山の家」の暖炉。創立者C. K. ドージャーの遺訓を掲げる木枠は西南学院小学校のエントランスに移設されています。



西南学院バプテスト大学構想図はがき(1937年)西南学院史資料センター 所蔵



図書館設計図(1937年)株式会社一粒社ヴォーリス建築事務所 所蔵



干隈神学部校舎(1955年竣工)



干隈修養会館「山の家」(1952年撮影)



緑の深い干隈グラウンド(1960年頃撮影)



干隈グラウンドで行われた第3回体育祭の様子。写真前列左は当時の学長・古賀武夫(1968年撮影)。

SEINAN GAKUIN information

～西南学院からのお知らせ～

理事長、 学校長就任のお知らせ

このたび、西南学院理事長、西南学院大学学長、西南学院中学校・高等学校校長を選任いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

◎西南学院理事長(新任)

宮崎 隆一

(2016年4月1日～2022年3月31日 西南学院小学校長)
任期:2022年12月15日～2025年3月31日

◎西南学院大学学長(新任)

今井 尚生

(国際文化学部国際文化学科教授)
任期:2022年12月15日～2026年12月14日

◎西南学院中学校・高等学校校長(再任)

早川 寛

任期:2023年4月1日～2026年3月31日

2022年度

西南学院大学博物館企画展Ⅲ 研究室訪問シリーズⅣ

「学院史のなかの神学部

ー成立と歩み、そして現在ー」

西南学院大学神学部の源流は、学院創立の1916(大正5)年よりも以前、1907(明治40)年の福岡バプテスト神学校の設立に求めることができます。設立以来、神学部は大名、西新、干隈とキャンパス移転を繰り返し、2023(令和5)年現在は西新キャンパスで他の学部と共に教育・研究の日々を過ごしています。100年以上にわ

たるこの長い歴史の中で、多くの問題に直面しながら、神学部は教会や教育の現場でキリスト教について語る人々を育て世に送り出してきました。

本展覧会では、その歴史の一端と現在の神学部教育について、さまざまな資料と共に紹介します。



会 場:西南学院大学博物館

1階常設展示室

会 期:2023年3月1日(水)～

5月22日(月)

休 館:日曜日

入 館 料:無料

【お問い合わせ】

西南学院大学博物館 博物館事務局

TEL:092-823-4785

2023年度前期 公開講座 「西南コミュニティーカレッジ」 開講のご案内

西南学院大学では、あらゆる世代の「学びの場」として、公開講座「西南コミュニティーカレッジ」を実施しています。2023年度前期は、5月から7月にかけて全11講座

を開講します。各講座についての詳細およびお申込み方法については、大学ホームページでご確認ください。



過去に開催した講座の様子

西南学院大学 生涯学習 検索

【お問い合わせ】

総合企画部 社会連携課

TEL:092-823-3612

E-mail:sw-ext@seinan-gu.ac.jp

メールマガジン

「西南学院Letter」に ご登録ください！

メルマガ『西南学院Letter』は、西南学院のNEWSやイベント情報などをおよそ月に2回の頻度でお届けいたします。

ぜひ
ご登録ください

※携帯電話のメールアドレスをご登録の場合は、ドメイン名「seinan-gu.ac.jp」からのメールを受信可能な状態に、設定をお願いいたします。

【発 行】

総合企画部 広報・校友課

TEL:092-823-3248

E-mail:koho@seinan-gu.ac.jp

西南学院大学新体育館・ プール棟(仮称)の 建設について

西南学院大学新体育館・プール棟(仮称)は、現在の大学西新グラウンド(西キャンパス)に、地上3階(体育館)の規模で2023年6月に竣工予定です。

本学は、教育研究環境の一層の充実を図るとともに、環境面や防災面における拠点として、地域社会と共生してまいります。引き続き、ご支援くださいますようお願い申し上げます。



新体育館(仮称)外観
※本パースはイメージであり今後変更の可能性があります。

読者アンケートに ご協力ください！

今後の赤煉瓦通信の企画、制作等の参考とさせていただきます。読者の皆さまからの感想やご意見・ご要望など、お寄せください！

アンケートはこちらから▶

(受付期間 2023年6月30日(金)まで)

西南学院大学サポーターズ募金ご協力のお願い

2018年4月から開始した西南学院大学サポーターズ募金では、寄付者のご意向に沿った目的に使用するために用途をお選びいただけます。皆さまのお持持ちが本学のさまざまな活動の大きな支えになりますので、ご協力をお願いいたします。

<選べる用途の種類>

1 大学給付奨学金	2 教育・研究活動支援	3 スポーツ・文化活動支援
4 グローバル人材育成支援	5 ボランティア活動支援	6 新体育館・プール棟(仮称)建設支援

寄付者銘板のご紹介

ご寄付をいただいた個人様、団体様、法人様のご芳名を刻銘した銘板を、西南学院百年館(松緑館)の1階に設置し、末永く顕彰いたします。



銘板
掲載対象

【個人】5万円以上
【団体】10万円以上
【法人】50万円以上の寄付をいただいた方

西南学院大学 サポーターズ募金に 関するお問い合わせ

西南学院 総合企画部 広報・校友課
TEL:092-823-3248
FAX:092-823-3249
E-mail:koyu@seinan-gu.ac.jp

西南学院大学
サポーターズ募金
ホームページは
こちら▶▶▶



「スポーツ・文化活動支援」へのご寄付を物品購入等に活用させていただきました。

今後とも学生の活動に対し、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

剣道部

創部100周年事業の費用(記念誌発行、広告・寄付芳名録作成、記念面タオル作製、記念印鑑ケース作製、学生紹介動画制作)として活用させていただきました。ご寄付いただきました方々に改めてお礼申し上げます。



ヨット部

中古船と装備品一式を購入いたしました。ご寄付いただきました方々に改めてお礼申し上げます。



SEINAN TOPICS

大学・各学校・園・保育所の近況

西南学院早緑子供の園(保育所)

「西新商店街ウォークラリー」にお出かけ

西南学院大学人間科学部社会福祉学科の学生による企画「西新商店街ウォークラリー」に、5歳児の園児が出かけました。西新中央商店街や中西商店街のお店を見ながら歩き、蜂楽饅頭では2人組になって1個ずつお饅頭を買いました。園のある鳥飼から西新までの道のりも、学生に見守られながらの楽しいひとときとなりました。



「いろんなお店を見つけたよ」

西南学院舞鶴幼稚園

小さい子集まれ～ 「親子で遊ぼう会」

未就園児を対象にした子育て支援イベントを、毎月1回(月曜日)行っています。園庭でのどろんこ遊び、ホールでの遊具遊び、簡単な制作や親子遊び、絵本の読み聞かせなど楽しいことがいっぱいです。子どもはもちろん、おうちの方も子育て相談や情報交換をしながらにぎやかな時間を楽しんでいます。



小さい子向けのいろいろなおもちゃで思い思いに遊びます

西南学院小学校

6年生のウイングツアーは 東京の英語学習施設へ

6年生はウイングツアーで東京の英語学習施設「GLOBAL GATEWAY」を訪れました。「医者に行く」「レストランで注文する」等、さまざまな活動に英語のみで積極的に参加し、その後、「橋の設計」「コマ撮り映画製作」等のチームに分かれ、課題に取り組みました。体験後は、一人ひとりが英語を使うことに自信を持つことができたようです。



英語が通じると大きな達成感

西南学院中学校・高等学校

クリスマスツリー点灯式 全校生徒・教職員心新たに

今号が発行されている頃はすでに春となりますが、中学校・高等学校では2022年11月14日、クリスマスシーズンの始まりを告げるクリスマスツリー点灯式が行われました。チャペルでは中高合唱部によるハンドベルでの讃美歌演奏や、聖書朗読、お祈りが行われました。その後、エントランスに場所を変えて中高吹奏楽部の演奏の中、ツリーが点灯されました。



合唱部、吹奏楽部による演奏の様子

生徒たちは教室で配信映像を視聴する形となりましたが、合唱部、吹奏楽部の音色が式典に華を添えてくれました。クリスマスは、イエス・キリストの生誕をお祝いし、また他者への愛を表す大切な祝祭です。中学校・高等学校の全生徒、教職員一同、心新たにこのときを過ごせるよう、一つとなって祈りをささげ、点灯式を終えました。



デロイト トーマツ グループと データサイエンス教育に関する連携協定を締結

2022年12月6日、デロイト トーマツ グループとデータサイエンスに関する高度人材育成を通じた地域社会への貢献を行うことを目的とした連携協定を締結しました。今後は、課題解決力のある学生を育てることを目指し、同グループによるデータアナリティクスの知見を生かした「データサイエンス実践」科目が2024年度から開講されます。



同日行われた調印式の様子

雄大な自然に触れる キャンプが休日の楽しみ

体を動かすことが大好きで、今はキャンプに夢中です。自然の中でテントを張り、食事を作り、夜は星空の下でたき火を囲み、友人や家族と語り合います。娘たちと木の実や枝、葉っぱを使った「レストランごっこ」をするのが恒例行事。まだまだ奥深いキャンプの魅力を掘り下げ、自然の美しさと雄大さを楽しみたいです。



西南学院小学校
教諭 平良 晃洋



圧倒的に美しい風景を眺め、自然の中でしか味わえない音やにおいを五感で感じられるひととき



木の実や葉っぱを使って食事に見立て、想像力を働かせながら行う「レストランごっこ」